

会員増強のための活性化会議 グループワーク資料

(配布資料①)

地域薬剤師会名： 深谷市薬剤師会

地域薬剤師会代表者名： 中里範子

① 数値目標

- ・ 現会員数：A 会員 47 名 B 会員 9 名
 - ・ 目標会員数：A 会員 (+9.41%)： 4 名 B 会員 (+11%)： 1 名
-

② 具体策 (3 項目)

■施策① (すぐできること)

内容：

- ・ 会員のメリット資料を作成する
- ・ 退会のデメリット資料を作成する

開始時期： 8 月

■施策②（少し頑張ればできること）

内容：

- ・未加入薬局への個別の声掛けと訪問

開始時期：8月

■施策③（新しい挑戦）

内容：

- ・新規薬局への訪問、入会のご案内
- ・交流会の実施

開始時期：8月

③ 想定される課題（任意）

④ 埼玉県薬剤師会への支援要望（任意）

- ・県薬剤師会から『守られている』という実感が欲しい。
例えば、昨今、分包紙や容器類が不足しているが、それについて県薬が何らかの働きかけをしてくださる…など。困っている時に助けてもらいたい。
- ・情報共有をしたい。
薬事情報センターに寄せられた質問など、会員に広く情報提供してもらいたい。
また、法令改正時の疑義解釈などもHP掲載だけでなく、会員が目にとまりやすい方法で提供してもらいたい。
- ・県薬主催研修会・講習会の会費を下げてもらいたい。できれば無料にしてほしい。
地域薬剤師会の勉強会は無料でやっているところが多いと思います。
- ・地域薬剤師会の勉強会（研修センター単位取得できる会）を定期的の実施することが困難になっている。メーカーに共催してもらえない状況が続いている。県薬で単位取得研修会を毎月実施してもらえないか。もちろん、無料で。
- ・疑義照会簡素化プロトコルについて
埼玉医大など地域に処方箋が流れている大きい病院の県下統一プロトコルの作成・実施ができないか。